

JAAS News 第160号をお届けします

＜ もくじ ＞	
1. 連続講座『後悔しない終活のために』 第3回講座のお知らせ	1
2. 第11回大会のアンケート集計から	2
3. 研究会からのお知らせ	3
4. シニア・ニュース	3
5. 事務局から年会費未納者に納入のお願い	4

1. 連続講座『後悔しない終活のために』 第3回講座のお知らせ

ただいま、本年（2012年度）の連続講座について参加者の申し込みを受け付けています。第3回講座の概要についてお知らせいたします。ふるってご参加ください。

◆第3回講座は、**2012年11月10日（土）開催**です。◆

講演テーマ：「介護が必要になったら」

講師：望月 幸代（ミズ総合企画、当学会会員）

（講演要旨）

親が夫が妻が倒れた。あなたが『介護する』立場になったら、そのときどうする。超高齢社会に突入した日本。今や介護は誰にとっても身近な問題になりつつあります。誰もいつか必ず直面するであろう介護問題。“いざ”となったとき、何から手をつければいいのかご存じですか。「いざ」というときのためのフローチャート」を参照して入院から介護施設入所までを想定し、わかりにくい介護の現状をみなさまとごいっしょにひもときます。多くの場合、「介護」の必要を思うとき経済的な不安も付きまといまいます。良いサービスについても一緒に考えてみたいと思います。

※今回ご参加の方には、「親が倒れる前に必ず読んでおきたい本」（ミネルヴァ書房、1,680円）を特別価格1,000円でご予約を承ります。当日は見本誌をご用意いたします。

※参加講座は各回ごとに自由にお選びいただけます。（複数回も可）

ホームページでも随時お知らせしますのでご参照ください。お申し込みもできます。

（1）全体テーマ：『後悔しない終活のために』

第4回以降のテーマと講師

- ・第4回 2012年12月8日（土）「最期まで自分らしく生きるために
～私の生き方連絡ノートを活用して」（渡辺敏恵）
- ・第5回 2013年1月26日（土）「安心の遺言書」（加藤 隆）
- ・第6回 2013年2月23日（土）「その人らしい葬儀と墓」（荒井浩道）

（2）場 所：東京銀座・資生堂 9Fホール

http://www.shiseido.co.jp/parlour/html/res_ginza04.htm

（3）開催要領：各回とも、14時～16時の開催。募集人数は最大45名。

各回の参加費は、会員2,500円、非会員3,000円を会場でお支払いください。

※お申し込みは、「①お名前」、「②参加講座」、「③連絡先」を明記しeメール、FAXで事務局まで。

※参加費は当日、会場にてお支払いください。

※各回ごとにJAAS NewsやHPで随時お知らせいたしますが、ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。多数の方のご参加をお待ちしております。（事務局担当 鈴木）

◇連続講座第1回参加者の感想（アンケート回答より抜粋）

＜第1回講座「悔いのない老後の経済設計」講師：牛嶋信治＞

感想1 保険のことで迷っていたことが、すっきりした感じになりました。保険の事は難しいです。

感想2 勉強になりました。場所も優雅で、美味しいケーキと為になる実益的なお話を伺えるなんて

素晴らしいです。RSSCの学生にPRしておきます。

感想3 重要なポイントについては、時間を掛けて詳しく分かりやすく説明されており、理解度を深めることが出来た。

◇連続講座第2回参加者の感想（アンケート回答より抜粋）

＜第2回講座「最期まで暮らせる家」講師：天野 彰＞

感想1 これから家を建て替えようと思っているので参考になりました。

感想2 手すり→手つきへの考え方（気がつきませんでした）

感想3 階段の考え方が役立ちました。

感想4 もう少し深い詳しい話を聞きたい。またよろしく。

2. 第11回大会のアンケート集計から

「震災とまちづくり～今、私たちに何ができるのか」アンケート結果から

去る6月30日に開催されました第11回大会において、出席の皆さんにアンケートに回答頂きました。その集計結果をお知らせします。

＜大会テーマ「震災とまちづくり～今、私たちに何ができるのか」＞

1) アンケート回収率 50%

2) 年齢構成 30代:18%、40代:4%、50代:25%、60代:32%、70代:21%

3) 「問2」 基調講演について

震災地福島県浪江町の地域再生について、阪神淡路地震を例に対策を多方面に就いて講演下さいました。東日本大震災は、地震・津波だけでなく、原発による放射能汚染と言う大きな問題があります。コメントには、①今後の震災と町づくりを考える上で参考になった。②新たなまち、ふるさとあり方について考える気づきを頂いた。また③素晴らしいプランだが、実現するための財源マンパワーをどうするかなど、具体策が見えなかった。と言うご意見もありましたが、86%の方が、良かったと回答しています。

4) 「問3」 パネルディスカッションについて

東日本大震災の復興を現地で支援している方、都心新宿の危機管理について、3名のパネリストから支援の現状や今後について発言がありました。コメントには、①復興地のリアルな現状が把握できた。②震災と町づくりの現状、今後の方向を考えるのに参考になった。③専門家と行政と当事者が、それぞれの立場で話してくれたので参考になった。90%の出席者が良かったと回答しているが、④テーマが非常に広すぎた。⑤テーマをもう少し限定しても良かったのでは。と言うコメントもありました。

5) 「問4」 会員自身に対する質問について

1) 震災後復興にむけて何かやっていますか？

50%の方が何らかの支援をしています。人的支援、義援金など金銭的な支援、就業支援、慰問・心のケア支援などがありました。

2) これから行なおうと考えていることがありますか？

これには、被災地に対してのコメントと自分の今後についてコメントがありました。被災地に就いては、①今後もあらゆる方面の支援をする。②脱原発活動。③原発イース・ノー住民署名活動。60代のコメントが多く見られました。

3) シニア社会学会が実施したらよいと考えることがありますか？

この問に対して、17件のコメントがありました。

①復興の長期取り組み。社会が忘れないように発信していくこと。②若い学生や社会福祉の現場にいる学者を沢山参加させ、もっと議論を中心にやってはどうか。③「震災と町づくり」をテーマとした“分科会”・“研究会”の立ち上げ。④政治に対するアクション。日本政府への働きかけ。⑤2013年のテーマを「24時間包括ケアの街づくりに」について企画を希望、などがありました。

上記コメントをいただいた方の年齢構成は、30代:13%、40代:6%、50代:18%、60代:44%、70代:19%でした。

今後のシニア社会学会の取り組みに就いて、いただいたコメントを参考に運営委員会で検討し、来

年度の第12回大会のテーマを初めとして企画内容の検討を始めております。
*コメントに関しては、類似コメントを纏めて記載しましたことご了解下さい。

3. 研究会からのお知らせ

◆「シニアのICT活用研究会」第3回開催のご案内

- 1) 日時：2012年11月12日(月) 17:00~19:00
開催は原則的に毎月第二月曜日の17~19時を予定しております。
- 2) 参加費：500円
- 3) 場所：(公財)ダイヤ高齢社会研究財団 会議室
新宿区新宿一丁目34番5号直田ビル3階 <http://dia.or.jp/access/>
- 4) 話題提起：「NPO-大学協働による地域助け合い活動のサポート事例の紹介」
大木幹雄氏(日本工業大学)
日本工業大学で2005年度から行っている実践的PBL(Project Based Learning)演習において、地域のNPOと協働して「在宅介護老人の助け合い」,
「老人福祉施設の検索」等の無償システム開発を通して情報工学科3年生が経験したNPO-大学協働のメリット、課題等について。
- 5) 参加のご連絡およびご質問については、澤岡詩野までご連絡ください。
eメール：sawaoka@dia.or.jp 電話：03-5919-1631

◆第61回社会保障研究会の報告

- 1) 日時：2012年9月20日(木)
- 2) 場所：高齢者生活協同組合会議室
- 3) 講師：皆川鞆一氏(北欧社会研究所代表・元共同通信論説委員)
- 4) テーマ：「北欧福祉国家の”原点”はヴァイキングにあり」
ヴァイキングの航海の歴史が説明され、コロンブスのアメリカ大陸発見より以前にアメリカに到着していたことや、ヨーロッパの広範囲に攻め入っていたこと、その経験から、ヴァイキング由来の英語や仏語の地名や単語があることが語られた。このようなヴァイキングの冒険的航海の歴史が、独立自尊、平等、博愛の精神や連帯意識といったヴァイキングの精神を培った。具体的には、民意を問うアルシング(国民会議)によって意見統一を図ってきた、特定の首領はいない、男たちの留守を守る女性にも権利が与えられているなどのヴァイキング精神こそが、個人の自立と自由を最大限に認め、連帯を尊ぶ北欧民主主義の根底にあり、今日の福祉国家の基礎となっている。(林葉子 記)

◆第62回社会保障研究会は、10月11日(木)に終了しました。

◆第63回社会保障研究会のお知らせ

- 1) 日時：11月9日(金) 18:15から
 - 2) 場所：高齢者生活協同組合会議室
 - 3) 報告者：真野 俊樹氏(多摩大学教授)
 - 4) テーマ：医療制度に関する報告(案)
- ※11月は講師の都合で金曜日開催となりますのでご注意ください。

※お問い合わせ、参加申込は事務局佐藤[fujiko11kasei1locha@yahoo.co.jp]迄ご連絡下さい。

◆第8回「シニア社会の正義」研究会のご案内

- 1) 日時：11月19日(月) 16:30~19:30
- 2) 場所：早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：①M・サンデル著『これからの「正義」の話をしてしよう』第5章を読んだ要約と問題提起
発表者：安田和弘さん
②濱口研究会100回記念企画の検討
- 4) その他：研究会参加費として300円を徴収させていただきます。
お問い合わせ等は、事務局島村までお願いします。

4. シニア・ニュース

1. アイランドフェスタ江の島で、ダイヤピックを体験しましょう!!

公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団のダイヤピックひばり会が「シニアが元気で生き生きと暮らせ

る」ために開発したシニア向けエアロビックです。しかも、先生も同世代の高齢指導者です。軽快なリズムに乗って、無理せず気軽にダイアビックを楽しみましょう。

- 1) 日時：10月21日(日) 1回目11:00~11:45
2回目14:00~14:45

2) 会場：神奈川県立かながわ女性センター

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f41205/p2607.html>

3) 会費：300円

※お問い合わせ等は、下記ホームページよりNPO法人かながわ女性会議までお願いします。

<http://kanagawa-josei-kaigi.org/access.html>

2. 地域サロン「プラット」よりお知らせ

①12月のイベント講師募集

下記日程でご講話いただける方を募集します。テーマは何でも可。講師への謝金は1人当たり300円(交通費なし)。チラシ、インターネットで集客します。受講生ゼロの場合、休講となります。お問い合わせは、担当：藤森(080-2563-0530、wd-jf198776@s7.dion.ne.jp)または、須之内(080-1109-4171、sunouchi@ric.hi-ho.ne.jp)まで。

◆募集日時：12月7日(金)、8日(土)、14日(金)、15日(土)

担当時間は各日とも、14:00~16:00

②川村オープンゼミ「お笑いタレントと生活保護」

1) 日時：11月3日(土) 14:00~

2) 会場：地域サロン「プラット」

武蔵野市境3-12-10、JR中央線「武蔵境駅」北口徒歩5分

3) 講師：生活保護ケースワーカー、江幡五郎氏

4) 会費：500円(資料・茶菓代込み)、予約不要

※お問い合わせは、野上隆憲(090-3680-6961、cs_net@ac.auone-net.jp)まで。

3. 目黒ユネスコ平和コンサート2012

～次世代への平和と文化のメッセージ～

藤原道山(尺八)×SINSKE(マリンバ)

1) 日時：11月9日(金) 開演19:00(開場18:00)

2) 場所：めぐろパーシモンホール 大ホール

3) チケット：一般 1階全席指定 4,000円、小・中学生ご招待(先着100名)

※詳細は、<http://www.unesco.or.jp/meguro/> をご確認ください。

5. 事務局から年会費未納者に納入のお願い

2012年度も上期を終了しました。会員の皆様には多方面に亘りご支援ご尽力を賜り、お礼申し上げます。

ご存知のとおり、シニア社会学会は会員の皆さまの年会費で運営を行っております。しかしながら、半年を過ぎた10月10日現在、未だ会員の3割の方が年会費未納となっております。

学会の活動、運営を円滑に行なうためにも、早急に納入くださいます様お願い申し上げます。

なお、この件に関するお問い合わせは事務局までご連絡下さい。

一般社団法人シニア社会学会・事務局 (月・水・金オープン)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX：(03) 5778-4728
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>